# 平成23年度 入学試験問題

# 算 数

第 3 回

## [注 意]

- ・試験時間は50分です。(10:00~10:50)
- ・問題は1ページから6ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
- ・円周率は3.14として計算してください。



1 次の計算をしなさい。

$$(1) 7 \times (8 + 64 \div 8) - 5 \times 12$$

$$(\,2\,)\ \ \, 0\,.\,375\,+\Big(\,3\frac{\,3\,}{\,4\,}+\,0\,.\,25\,\times\,2\frac{\,1\,}{\,2\,}\,\Big)\div\frac{\,5\,}{11}$$

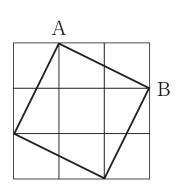
### 2 次の問いに答えなさい。

(1) 3つの整数A, B, Cがあります。AとBとCの3つの平均が7, AとCの2 つの平均が9のとき、Bはいくつですか。

(2) A子さんには、兄と妹が1人ずついます。妹の身長は、A子さんの身長の $\frac{6}{7}$ に等しく、兄の身長の $\frac{4}{5}$ に等しいそうです。兄とA子さんの身長差が $11\,\mathrm{cm}$ であるとすると、妹の身長は何 $\,\mathrm{cm}$ ですか。

(3) 240人並んでいる列に、毎分3人ずつ並ぶ人が増えていきます。窓口を1つ 開けると120分で行列がなくなります。窓口を3つ開けるとすると何分で行列が なくなりますか。

(4) 図は同じ大きさの正方形を9つ並べたものです。 1つの正方形の面積が $20 \text{ cm}^2$ であるとき,ABの 長さは何cmですか。



#### 3 次の問いに答えなさい。

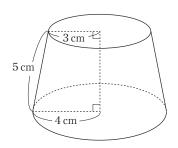
- (1) 十分な深さのある水そうに水がいっぱいに入っています。この水そうに大・中・小3つの鉄の玉を以下の順番で入れていきます。
  - ① 小玉を入れる。
  - ② 小玉を取り出し、中玉を入れる。
  - ③ 中玉を取り出し、大玉を入れる。

このとき、①の操作でこぼれた水の量は②の操作でこぼれた水の量の 3分の 1 であり、③の操作でこぼれた水の量は②の操作でこぼれた水の量の半分で した。小玉の体積が 24 cm³ のとき、大玉の体積は何 cm³ ですか。ただし玉を取り出すときには水はこぼれません。

(2) おもりA, B, Cについて、図のように天びんにのせたときの重さの関係が分かっています。このとき、おもりA, B, Cを、重い方から順に並べなさい。



(3) 図は、半径4 cmの円を底面とする円すいを、底面に 平行な面で切った立体です。この立体を横に倒して 平面上をすべらないように転がすとき、はじめてもとの 5 cm 位置に戻るのは何回転後ですか。ただし、円周率は 3.14とします。



(4) 食塩水A, B, Cがあり、濃度はそれぞれ6%, 10%, 12%です。AとBを混ぜると8.4%の食塩水ができ、BとCを混ぜると10.5%の食塩水ができることがわかっています。AとBとCを混ぜると何%の食塩水になりますか。なお、この問題は解答までの考え方を表す式や文章・図などを書きなさい。

**4** 図のように、あるきまりにしたがって数が並んでいます。たとえば、4段目の左から3番目の数は17です。このとき、次の問いに答えなさい。

 1段目……
 1

 2段目……
 3
 5

 3段目……
 7
 9
 11

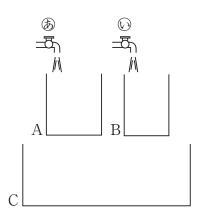
 4段目……
 13
 15
 17
 19

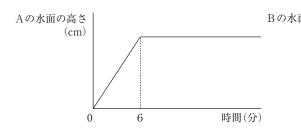
 .
 .
 .
 .

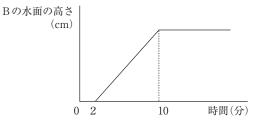
- (1) 201は何段目の左から何番目ですか。
- (2) 1段目から20段目までの数の和はいくつですか。

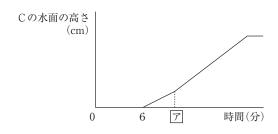
- **5** たか子さんとよし子さんが、A町を同時に出発して15km離れたB町までを往復しました。たか子さんは行きも帰りも毎時9kmの速さで走りました。よし子さんは、行きは一定の速さで走りましたが、たか子さんより25分遅れて折り返したので帰りは行きよりも速い一定の速さで走りました。よし子さんが折り返して30分後、たか子さんはよし子さんの2km先を走っていました。このとき、次の問いに答えなさい。
  - (1) よし子さんの行きの速さは毎時何kmでしたか。
  - (2) よし子さんの帰りの速さは毎時何kmでしたか。なお、この問題は解答までの 考え方を表す式や文章・図などを書きなさい。
  - (3) たか子さんとよし子さんのどちらが何分早くA町に覧ってきましたか。

「図のように、深さが等しい直方体の容器A、B、Cがあります。容器A、B、Cの底面積の比は5:4:15です。管あ、◎は順に開き、開くと1分間あたりそれぞれ一定の量の水が流れます。グラフは、管あを開いてからの時間とそれぞれの容器における水面の高さの関係を表したものです。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、容器の厚さは考えないものとします。









(1) グラフの ア にあてはまる数はいくつですか。

(2) 管動、⑥で、1分間あたりに流れる水の量の比を最も簡単な整数の比で表しなさい。なお、この問題は解答までの考え方を表す式や文章・図などを書きなさい。

(3) 管働を開いてから15分後の容器 C の水面の高さは容器の深さの何倍になっていますか。